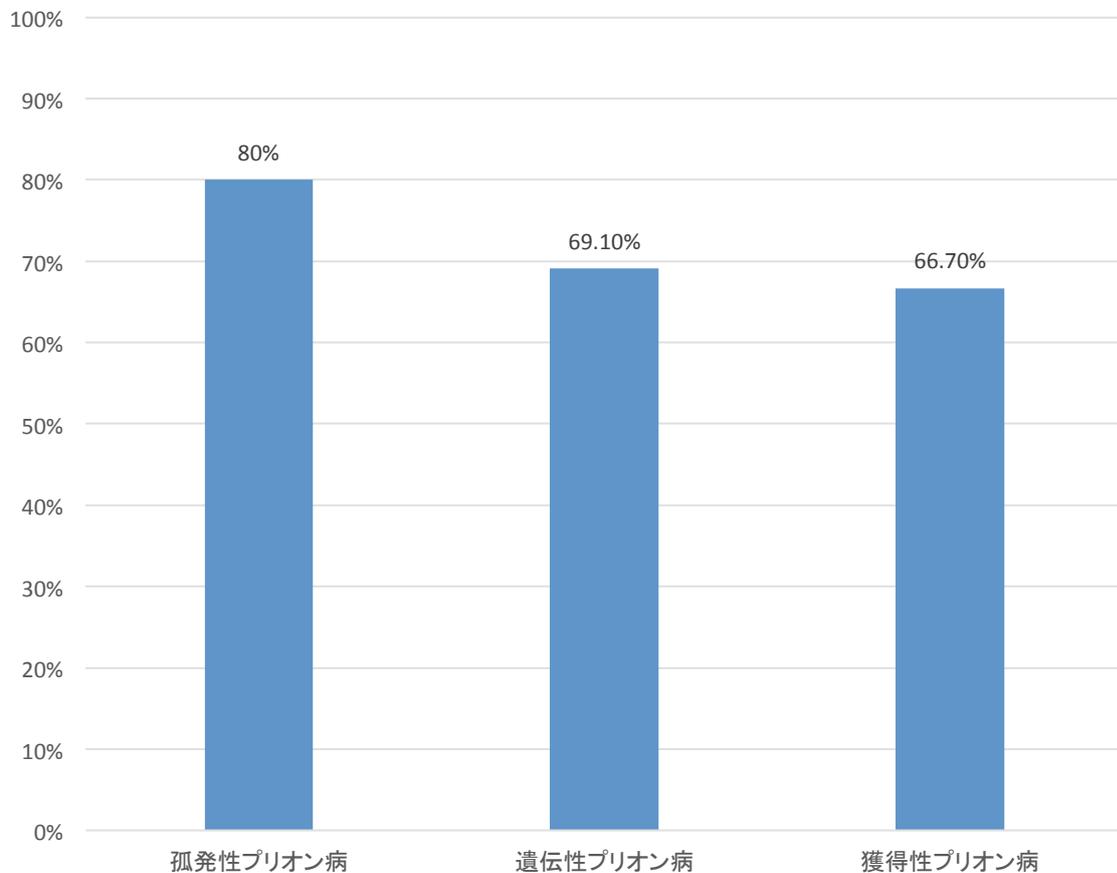


RT-QUIC法による ヒトプリオン病の髄液中の異常プリオン蛋白の検出感度

研究分担者:長崎大学・感染分子解析学 西田教行



解 説

1. ヒト孤発性プリオン病患者における髄液中のバイオマーカーでは感度は76.2%、特異度は74.2%であった。遺伝性プリオンでは65.9%、獲得性プリオン病では66.7%であった。
2. ヒトプリオン病患者における髄液中異常プリオン蛋白試験管内増幅法(RT-QUIC法)の感度は、孤発性プリオン病では80%、遺伝性プリオン病では69.1%、獲得性プリオン病では66.7%、特異度は97.1%であった。